

# 未来志創

2023(令和5)年

9/4 月

通心019(第752号)

週末、今年の4月から新社会人となった卒業生にお会いする機会がありました。10年前、私が大卒社会人1年目に、初めて公立中学校の教壇に立ち、担任をさせてもらった生徒です。「先生」と呼ばれながらも、全然「先生」になれていない、そんな頃の私を間近で見ていたのが、その卒業生です。

今となっては、こうして偉そうに通心「未来志創」を教員退職後も発行し、半ば強制的に送りつけさせて頂いているわけですが、あの1年目がなかったら、あの生徒たちの担任で、あの学年の生徒たちと出会わせてもらえてなかったら、こんなことはしていないかもしれません。間違いなく、私の人生において“教員として”というより、“人として”大切にしなければならぬことを教えきれないくらい教わりました。感謝してもしきれません。

10年の時を経て、新社会人ともなると、身も心も大人になります。特に立ち振る舞いや言葉に表れます。その人の人生がにじみ出てくるんです。そういう人と話していると、どんどん新しい気付きや学びに繋がります。社会人1年目の方は特にすべてが新鮮かったり、今までの当たり前が全く通用しなかったり、現実を目の当たりにしたり、考えさせられることが多かったりと、そんな毎日ですが、心と体を大事にしながら、仕事してください。応援しています。

## 勉強したくないあなたへ ~勉強より大切な暇つぶし~

\*\*\*\*\*

さて、勉強に熱を注ぐ皆さん、ちょっと息抜きも大切です。暇つぶしの時間です。今日のテーマは「お金」です。鴨頭嘉人さんというYouTube 講演家がいるのですが、その方が長崎県の創成館高校で講演された内容を参考にお金について考えてみます。講演の中で、鴨頭さんは高校生にクイズを出します。1問目は、「お金は将来のために貯金した方が良いのか？(○×)」。2問目は「お金は好きなものを買うのに使うのが良い？(○×)」。この2問については、またいつか。3問目があります。それは「高校3年間の授業料はいくら？」です。あなたはご存知ですか。今の自分にいくらかかっているのかを。

表 学年(年齢)別の学習費総額

区分	公立	
小学校	第1学年	379,539
	第2学年	283,211
	第3学年	315,794
	第4学年	329,198
	第5学年	380,774
	第6学年	423,506
中学校	第1学年	531,544
	第2学年	443,848
	第3学年	640,925
高等学校(全日制)	第1学年	629,459
	第2学年	457,895
	第3学年	455,762

「令和3年度 子供の学習費調査-調査結果の概要」(文部科学省)

これについては、文部科学省が、「子供の学習費調査」という調査をしています。あくまで日本全体の平均額です。この調査結果によると、小学校では、約211万円、中学校では、約162万円、公立高校(全日制)では約154万円かかっています。ちなみに私立高校だと約316万円です。公立小中高校で合計すると約527万円です。これを払っているのは？ あなたの親です。

もし、このお金を返そうとするとどうなるでしょう。富山県の最低賃金は現在、時給948円です。仮に時給950円のアルバイトをしたとすると約5550時間。1日4時間バイトしたとして、1375日分。これを年間365日1日も休まず働いても4年近くかかります。

ここに食費や家賃を足すとどうなるでしょうか。今一人暮らしをしている人は、1食あたりのお金を1日3食として、それを年間365日分、20歳まで親に養ってもらったと仮定して20年分をかけてみると、食費のおおよそが出てきます。そこにさらに家賃を足してみると・・・？ とんでもない金額になります。私は電卓をはじきながら、フリーズしました。

鴨頭さんはこう続けます。それだけの金額を高校生の皆さんは使っていると。支払っているのは親ですが、使っているのはあなた自身です。お金の価値は後になってから上がったたり下がったりします。つまり、そのお金の価値を決めるのは自分自身だということです。

教育は贅沢品だと鴨頭さんは言います。ただ生きるだけなら、食べ物と住む場所があればいいと。だから、親が食費や住居費を支払ってくれるのはわかります。しかし、教育はどうでしょうか。極端なことを言えば、学校に行かなくても生きることはできます。学校に行っている人だから価値があるわけではありません。学校に行っていない人と同じように価値があります。当然です。それでも皆さんが高校や大学に通わせてもらえているのは、なぜでしょうか。根本には、教育を通して、「食える人間になる」ためという理由があるのではないのでしょうか。

自分が「食える人間になる」ために、人はお金を稼ぎます。ただ不思議なことに人間にはある特徴があります。それは、「人は、自分が食えるようになると、自分以外の人を豊かにしようとする」という特徴です。そして、あなたはすでに、そんな人に出会っています。自分が食えるだけではなくて、自分以外の人を幸せにしようとして生きている人に。そう、あなたの親です。もしも、あなたの親が、自分がただ食えれば良いと思っていたら、あなたのことを育てる必要はないんです。とりあえず生きているだけでよいのであれば、教育にお金をかける必要はないんです。

人は、自分以外の人に幸せになってほしいと思うと、自分以外の人にお金を使うようになるものです。もっと言えば、自分のために使うお金を最小限に減らしてでも、なんとかして自分以外の誰かのために使うお金を生み出そうとします。自分に支払われているお金には、目には見えませんが、幸せになってほしいと強く願う気持ちが詰まっているんです。お金を何に使うか、誰のために使うか、どんな目的に使うか。それを見れば、その人の人生が見えてくるといわれます。

これから働く人は、まだお金について何も実感が湧かないかもしれません。それでいいんです。お金について考えたり、話したりすることはあまりよくないというイメージがあるかもしれませんが、そんなことはありません。むしろ、いずれ向き合う本当のことですし、考えたいことだと思っています。とはいうものの、なかなか学校の授業では言われません。特に小中学校では授業する先生も扱うのに慎重になりがちなのが本音です。でも本当は学生の間知っておいてほしいこと。ということであれば私が…そんな思いで書かせてもらいました。お金について考えたいことはたくさんありますが、それはまたいずれ。素敵な暇つぶしの時間になれば幸いです。先日お話をさせて頂いた2人の卒業生は各々話してくれました。お金の有難みや親の偉大さ、自身の思いを…。10年経っても教わってばかりです。そろそろ恩返してできる人になりたいものです。